

### 第3学年 体育科学習指導案

日時 平成20年 11月 21日(金) 4校時  
場所 久慈小学校 体育館  
児童 3年1組 男16名 女17名 計33名  
指導者 高橋 昌士

1 単元名 『ドンマイ!ドンマイ!!』 (B ゲーム バレーボール型ゲーム)

#### 2 単元の目標

運動への 関心・意欲・態度	・ルールやマナーを守り、教え合い・励まし合いながら楽しく運動しようとする。 ・みんなで協力して練習やゲームを行い、勝敗を素直に認めようとする。
運動についての 思考・判断	・チームの課題をもち、簡単な作戦を考えたり、みんなが楽しめるようにルールを工夫したりしている。
運動の技能	・はじくなどの簡単な技能を身に付けて、ゲームが楽しくできる。

#### 3 単元について

##### (1)教材観

バレーボール型ゲームは、複数のチームがネットをはさんでボールを返し合い、得点を競い合うことが楽しい運動である。また、軽くて軟らかいボールを使用したり、ルールを工夫したりすることでラリーが続きやすくなり、みんなが楽しめる運動である。さらに、チームで協力して攻めたり守ったりすることで、チームワークを高めるのに適している運動である。

児童から見た特性は、

- ① ボールをはじいたり、追いかけたりすることが楽しい運動
- ② ボールにさわると機会が多いと楽しい運動
- ③ チームで教え合ったり、励まし合ったりしながら、力を合わせて練習やゲームをすることが楽しい運動
- ④ ラリーが続いたり、得点が入ったりすることが楽しい運動である。

##### (2)児童観

児童は、ベースボール型ゲームの学習では、声かけやハイタッチ等チームワークを高めるための工夫やみんながゲームを楽しむためのルールの工夫等を行いながら、みんなでゲームをすることの楽しさや仲間とのかかわり方を学んできた。また、児童同士の教え合いも見られるようになった。単元終了後の振り返りでは、とても楽しかった、同じチームの仲間とまたやりたい、最初の頃よりも自分は上手になった等の感想が多く見られた。しかし、仲間の失敗を責める児童やワンマンプレーをする児童、声を出せない児童もあり、仲間とうまくかかわれない場面も見られた。

休み時間の児童は、読書やお絵描き等をしながら一人で過ごしたり、ボール遊びや鬼ごっこをしながらグループで遊んだりしている。もっとみんなで元気に遊んでほしいという願いをもっているが、教師側が意図的に遊びを仕組んでいかなければ、仲間との上手なかかわりをもつことができないのではないかと感じる時もある。

##### (3)指導観

児童にとってボールをはじくという動作は初めての経験である。導入にあたっては、風船や数種類の重さのボールを用意し、ボールをはじく楽しさを味わわせたい。はじく動作になれてきたら、チームや兄弟チーム同士でラリーを続ける楽しさも味わわせていきたい。ゲームでは、失敗が相手の得点につながっていく。また、続けて失敗したり、失敗を責めたりする児童も出てくるのが予想される。さらに、一人ひとりの果たす役割も大きくなっていくと思われる。そこで、練習やゲームを進めていく中で、チームの雰囲気づくりが大切になっていく。ベースボール型ゲームの学習で学んだ力をさらに伸ばしていく上でも、チームワークとチームプレーが不可欠で一人ひとりの役割が大きいバレーボール型ゲームが、児童には適した教材といえる。この単元では、仲間とのかかわりを中心とした学習を進めていきたいと考え、単元名を『ドンマイ!ドンマイ!!』とした。練習やゲームにおいて、仲間と声をかけ合ってボールをつないだり、みんなが楽しむためのルールや作戦を考えたりする活動を通して、仲間とともに過ごすことの楽しさや仲間とかかわる楽しさを味わわせていきたい。

本単元を実践するにあたり、以下の点にも留意して学習を進めていく。

【オリエンテーション】児童の意欲を高めしていくために、学習の楽しさや見通しをきちんともたせる。

【チーム編成】リーダー性や運動能力などを加味しながら、男女混同チームを教師が編成する。チーム間の力は、できるだけ均等になるようにする。兄弟チームをつくり、学び合いや技能の向上に役立てる。

【場の設定】児童にとって、ネットを使ったゲームは初めてである。導入段階では、センターラインだけのラリーからスタートし、児童の様子を見ながら、ネットの高さやコート of 広さなどを決めていく。

【用具の工夫】ボールは、風船、30、50、100g を使用する。児童が余裕をもって判断し、プレーすることができるように、安定性や落下するスピードを考えながら児童の実態に合わせて選択する。

【ルールの工夫】はじめは教師からルールを与えるが、みんなで楽しくゲームをするために、児童による工夫を重視する。また、みんながボールに触れるチャンスが多くなるようにルールを工夫していく。

【学習カードの活用】児童の思いや願いを把握し、支援にいかしていく。

【振り返り】よかったところや頑張ったところなど、次時にいかせるような内容を広める場にしていく。

#### 4 指導計画及び評価規準

時間	ねらい・主な学習活動	学習活動における具体的評価規準		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
第1次 1	○オリエンテーション ・学習のねらいや進め方、内容を理解し、見通しをもつ。 ・バレーボール型ゲームのルールやマナーを知り、意欲をもてるようにする。 ・チームの仲間と交流を図る。 ・学習カードの使い方を知る。	・学習のねらいや進め方、内容を理解し、ゲームを楽しむための活動に進んで取り組もうとする。	・学習のねらいや進め方、内容を理解し、単元の見通しをもっている。 ・みんなで楽しむためのルールなどを理解している。	・ボールをはじくことができる。
第2次 2 2 3	○いろいろな種類のボールでラリーを楽しむ。 ・色々な重さのボールをはじいたり、ラリーを続けたりしながら、ボールに親しむ。 ・兄弟チームと協力しながらラリーの続くゲームを楽しむ。	・声をかけ合いながら楽しく運動し、チームワークを高めようとする。	・ラリーが続くように工夫をしたり、動いたりしている。	・ボールをはじいてつなぐことができる。
第3次 4 5 6 7	○みんなで声をかけ合いながら、練習やゲームを楽しむ。 ・チームで励まし合いながら、簡単なゲームを楽しむ。 ・作戦を話し合ったり、ルールを工夫したりする。 ※ 7は本時	・教え合ったり、励まし合ったりしながら、楽しく運動しようとする。 ・勝敗を素直に認めようとする。	・簡単な作戦を話し合ったり、相手のコートに返すための工夫をしたりしている。	・ボールをはじいたり、ラリーを続けたりすることができる。
第4次 8 9	○ドンマイ！ドンマイ！！大会をみんなで楽しむ。 ・それぞれのチームと対戦し、学習の成果を確かめながらゲームを楽しむ。	・教え合い・励まし合いながら、楽しく運動しようとする。 ・勝敗を素直に認めようとする。	・簡単な作戦を考えたり、みんなが楽しめるようなルールを工夫したりしている。	・はじくなどの簡単な技能を身に付けて、ゲームが楽しくできる。

#### 5 本時の指導

##### (1) 目標

関心・意欲・態度	みんなで声をかけ合いながら、練習やラリーゲームを楽しもうとする。
思考・判断	チームの課題や作戦を話し合ったり、相手のコートに返すための工夫をしたりしている。
技能	ボールをはじいてつなぐことができる。

##### (2) 指導にあたって

単元の目標である“仲間が失敗した時に声をかけること”“勝ち負けの判定を素直に認めること”“ボールをはじいてつなぐこと”の3点を重点的に扱いながら、バレーボール型ゲームのもつ楽しさを味わわせていく。類似運動では、チームのラリーなどを取り入れながら感覚づくりを行う。ラリーゲーム①後の学び合いでは、チームの課題や作戦、相手チームのよさなどを考えさせながら、ラリーゲーム②にいかせるような話し合いをさせる。また、みんなが楽しめるようなルールを発表させたり、ラリーが続くような作戦などをみんなで共有したりするような学び合いにする。ゲーム②では、学び合いをいかしたゲームができるように支援していく。ゲームのはじめとおわりのあいさつは、気持ちよく行えるように指導しておく。学習の振り返りでは、次時からのドンマイ！ドンマイ！！大会につながるようなまとめにする。

(3) 本時の展開(7時間目 /9時間中)

段階	学習活動	・教師の支援と留意点	◇評価・用具
はじめ 14	1 整列・挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の服装や体調は、事前に確認しておく。 (見学者についても確認をし、指示を与えておく。)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて みんなで声をかけ合いながら、練習やラリーゲームを楽しもう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲げや伸ばしなどをきちんと行わせる。</li> <li>ラリーでは、記録の更新に目標をおき、ゲームに必要な感覚を高めていく。</li> <li>用具を準備する際、安全面に気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビブス</li> <li>ボール</li> <li>得点板</li> <li>移動黒板</li> <li>ネット</li> </ul>
	2 学習内容の確認		
	3 準備運動		
	4 類似運動		
	5 学習の場の準備		
なか 25	6 ラリーゲーム① (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時を振り返りながら、作戦やラリーを行うチーム、活動する場所の確認をする。</li> <li>はじめのあいさつをきちんとさせる。</li> <li>前時までの学習カードをもとにしながらかつ各チームを巡回し、必要に応じて支援する。</li> <li>教え合い・励まし合い、よい動き等チームワークを意識した活動を積極的に称賛する。</li> <li>技能面や関心・意欲・態度面において支援が必要と思われる児童には、個別に声をかけていく。</li> </ul> <p><b>【学び合い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ゲーム①を振り返り、相手チームのよかったところや自分たちのチームの課題等を発表し、ゲーム②にいかしていく。また、他のチームの発表を聞きながら、よいところをゲーム②に取り入れていく。</li> <li>☆技能面に関する話し合いだけでなく、仲間の頑張りにも目を向けさせる。</li> <li>☆みんなが楽しむことができるようなルールやラリーが続くようにするための作戦を全体で確認し、学び合いを深めていく。</li> </ul>	<p>◇みんなで声をかけ合いながら、練習やラリーゲームを楽しもうとする。</p> <p>◇チームの課題や作戦を話し合ったり、相手のコートに返すための工夫をしたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul> <p>◇ボールをはじいてつなぐことができる。</p>
	7 話し合い(5)		
	8 ラリーゲーム② (10)		
おわり 6	9 学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーゲームの勝敗を素直に認めることができるかどうか確認する。</li> <li>今までのラリーゲームを振り返りながら、仲間のよさやチームのよさをみんなで認め合い、次時の大会につながるようなまとめにする。</li> <li>ストレッチをしながら、気持ちを落ち着かせるように行う。</li> <li>協力して安全に取り組ませる。</li> </ul>	
	10 整理運動・片付け・整列・挨拶		

(4) 具体的評価規準

観点	評価規準A	評価規準B	努力を要する児童への手立て
関心 意欲 態度	みんなで教え合い・励まし合いながら、練習やラリーゲームを楽しもうとする。	みんなで声をかけ合いながら、練習やラリーゲームを楽しもうとする。	みんなで声をかけ合うようにキャプテンやチームに声をかけ意識を高めていく。
思考 判断	自分の考えをもって、チームの作戦や課題を話し合ったり、相手のコートに返すための工夫をしたりしている。	チームの作戦や課題を話し合ったり、相手のコートに返すための工夫をしたりしている。	ゲーム①の動きを振り返らせながら、話し合いに参加させる。
技能	ボールをはじいてつないだり、相手のコートに返したりすることができる。	ボールをはじいてつなぐことができる。	ボールから目を離さないように、上に高くあげるように声をかける。

(5) 本時における類似運動と主運動とのかかわり

類似運動	一人でラリー	平衡感覚・ボール捕捉感覚・ボールタッチ感覚
	チームでラリー	